



# 豊小だより

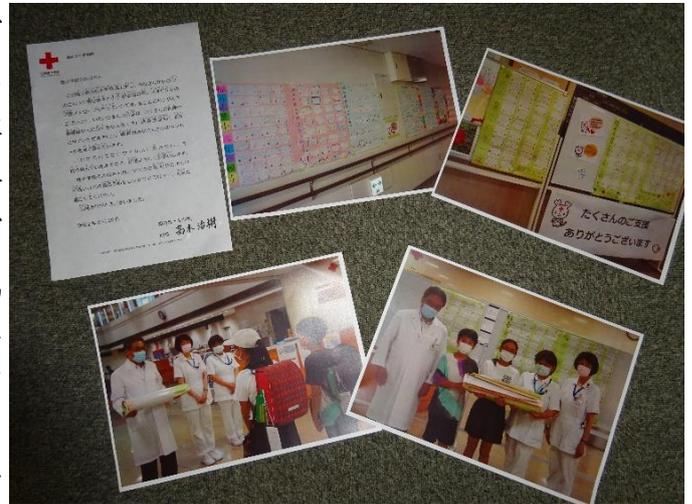
2020.9.1



## こんなときだからこそ！

8月17日、例年の半分程度(16日間)の夏休みが終わり、子供たちが学校に戻ってきました。まだまだ新型コロナウイルス感染症は収まる気配がなく、さらに熱中症対策にも気を張る毎日です。今年度の1学期は、臨時休業となった4・5月分の授業日確保のため、10月31日までとなりました。9・10月には、校内体育大会や学年活動による校外学習、6年生の修学旅行が予定されています。しっかり感染症対策を行いながら、充実した学校生活の中で子供たちに生きる力を育むことができるよう努めて参ります。

6月に学校が始まり、委員会活動にも制限がある中、子供たちは今だからこそできる活動をいろいろ考えました。みのりっ子委員会では、医療従事者の皆さんに応援メッセージを送ろうと全校に呼びかけました。各学級で書いたメッセージを模造紙に貼って、夏休み直前の7月30日、代表でみのりっ子委員長・副委員長が福井赤十字病院まで届けに行きました。約束した時間に病院に着くと、すでに院長・副院長先生がエントランスホールで待っていてくださり、無事お渡しすることができました。また、病院から見えるよう、北



福井赤十字病院から届いた手紙と写真

校舎3階の窓に「ありがとうの恩返し」の文字を貼ったので、その文字が病院からどのように見えるか上の階にあがって見せていただきました。次の日、このときの様子を録画したビデオを校内放送で視聴しました。子供たちは、自分たちの活動が地域の方にちゃんと届いたことを確認することができました。夏休み明けには、院長先生からお礼の手紙と写真が届き、地域に貢献できたことを実感しました。

そのこともあってか、福井市内小中学校で医療従事者へ感謝を伝え応援しようと、折り鶴を作ってつなげるプロジェクトに参加したところ、夏休み前後にたくさんの折り鶴が集まりました。教育振興会の皆さんが40羽ずつ系でつなげてくださり、全部で8,780羽贈ることができました。

本校では、地域活動に参加したらペットボトルのキャップを1個、学年毎の箱(左写真)に入れることになっています。これは、地域に関わったり、貢献したりしたことを子供たちが実感するための取組です。しかし、今年は感染症の影響で地域行事が相次いで中止となり、なかなか活動に参加できません。



地域ふれあいコーナーと折り鶴

